

VOL. 19 No. 4 University of the Ryukyus Library Bulletin. 1986.12.1

「西アフリカ農耕民の生態学的背景」

武田 淳

日本の国土の80倍という広大なアフリカ大陸の一面に足を踏み入れたのは、1972年京都大学理学部の伊谷純一郎教授が率いる文部省海外学術調査「アフリカの森林、オープン・ランド境界域における未開狩猟採集民の生態学的比較研究」の隊員として西部タンザニアのウッドランド・サバンナ（乾燥疎開林）でのトングウェ族の調査に参加した時に始まる。その後、中央アフリカ・ザイールの熱帯降雨林でのンガドゥ族、西アフリカ・トーゴのサバンナでのランバ族との付き合いが続く。しかし、約800の言語集団があるといわれ、G. P. マードックによれば、6,000の部族（エスニック・グループ）がひしめき合うアフリカ大陸において、20～30から100近い大小さまざまな部族によって構成される国家がざらなのであるから、いまだ、その一端を垣間みているのにすぎな

目 次	
「西アフリカ農耕民の生態学的背景」	寄贈雑誌紀要類配架場所
武田淳 … 1	の移動のお知らせ …………… 11
G. H. Kerr 氏が「わら算」の雛型	図書館業務電算化通信No.3 …………… 12
を寄贈 …………… 3	1987年度新規・中止雑誌リスト …………… 14
ブラウジングコーナー …………… 7	文献複写をセルフサービスで …………… 19
新着図書案内 参考図書(和漢書) …………… 8	本学教官著書寄贈コーナー …………… 22
第52回国際図書館連盟(IFLA)	図書館事情 …………… 23
東京大会に参加して 豊平朝美 …………… 10	医学部分館コーナー …………… 25

いのである。一国家多部族性は、開発途上国においては、政治・経済・社会的な発展にプラスに働くというよりは、むしろ、ネガティブな要因として働いたり、時には、部族間抗争や内乱という悲劇につながったりさえする。しかし、文化的・自然環境的な多様性の中に、調査者冥利を感じるのは、内心否めない事実ではあるけれども、簡単に融合・消滅してほしくない文化的要素の一つであると願うのは、人類学を志すものだけの驕りであろうか。水道が家にきていなくても、家の中を照らす電気が通じていなくても、はたまた、身にまとう衣類が十分でないにしても、それは、生きているその人の心の貧困さを物語るものではないし、物質文明とか機械文明にどっぷりひたり切った我々現代人のうつろな心に少なからぬ刺激と警鐘を与えてくれる未開社会が、この世から消え去って欲しくないと思ふもの一人であるから。

紙面の都合上、西アフリカの話を進めていくと、南北においては、ギニア湾とサハラ砂漠、東西においては、チャド国と大西洋に囲まれた一帯は、古来“黒い人々の国”を意味するスーダンという名称で呼ばれてきた。このスーダン・ベルトには、乾燥度の激しい順に北からサハラ砂漠南縁部のサヘル（アラビア語で「境界」を意味する）の半砂漠地帯、スーダン・サバンナ、ギニア・サバンナ（ナイジェリアではミドル・ベルトと呼ばれる、サバンナと森林の遷移帯）、ギニア湾に面した多湿な熱帯降雨林などの異なった植生帯が発達している。ただ、シェラレオネからギニア湾沿いに、中央アフリカまで続く熱帯降雨林の帯が、トーゴとベナン（旧ダホメ）のところで、北から張り出したサバンナで途切れるために、ダホメ・ギャップと呼ばれている。相異なった植生帯で産出する産物や、時には人的資源としての奴隷などをめぐって、物の交易や人の往来のためのルートが縦横によく発達しているスーダンは、古代ガーナ王国、古代マリ王国、ソングイ、ボルヌー王国や、アシャンティ、ダホメー、オヨ、ベニン等々の諸王国が興亡したところである。長距離交易を専門とする商業集団（デュラと呼ばれるマンデ系のイスラム化された商人とかワンガラ商人）などが活躍したり、近隣の弱小部族を支配・併合するためにハウサ族やフルベ族がジハード（イスラム教徒による聖戦）を展開する以前においても、サハラ砂漠の乾燥化にともなう、狩猟・採集民や牧畜民の南下移動の歴史はあったのである。だから、そこには、牛、山羊、羊などの家畜の草を求めて、乾季に南下、雨季には北上という移動のパターンを繰り返す牧畜民と定着している農耕民との接触、物々交換などの共生的な関係も長い間、維持されてきた。それは、サバンナ帯の住民の食料生産経済に少なからぬインパクトを与えることになり、エンマーコムギやオオムギを主食の基盤にした古代エジプト文明とは別個に、スーダンを原産地とする固有の食用作物の栽培化を促すのである。それらのうちで重要なものとして、まず、アフリカン・ライスと呼ばれるグラベリマ稲（アジア産のサティバ稲とは種が異なっている）は、西アフリカで最長のニジェール川のインランド・デルタ（内陸部にできた氾濫原）で作物として開発された。スーダンで最も古い食用作物であるフォニオは、B. C. 5000年頃から栽培されたメヒシバ属の穀類で、1グラム中2000粒もある極小の穂粒であるがゆえに、英語でハングリー・ライスと称せられるのであろう。しかし、端境期におけるファミン・ブレイカー（救荒食）として重要であるが、スーダン以外の地には全く伝播していないのである。最も耐乾性があるといわれるトージンビエは、サヘルでは最も一般的な作物であり、サバンナ帯で主食になっているソルガム（モロコシの一種）は、B. C. 4000～3000年頃に栽培され

た。さらに、バンガラ・ナットやジオカーバ・ビーン、ササゲなどのマメ類、オクラ、ローゼレ、ゴマ類などが、やはり乾燥している地方で栽培化されたのに対して、多湿な地帯では、いくつかのヤムイモ類や油料作物のアブラヤシが栽培化された。

組織的な栽培をともなっているわけではないが、いわば、半栽培（セミ・ドメスティケーション）という段階（一種のマニピュレーション）で有用樹の保護と利用を歴史的に長い間、行なってきたことは、スーダンでの食生活にはサプリメント的なものとして寄与しているのにすぎないのだけれども、スーダンにおけるヒトと植物相（フローラ）のかかわり合いの古さを知る上では重要なのである。例えば、シアー・バター、アキー・アップル、ローカスト・ビーンと呼ばれるネムリグサ亜科のバルキア、パンヤ科のバオバブとボンバックスとシルクコットン・トリー、パルミラヤシなどは、葉や種子、萼を食用として利用するので、それらの木（幼樹も含めて）を薪として採集の対象にしないのは勿論のこと、休耕した畑の切り拓きの時に伐採の対象からはずす。幼樹であれば、木の柵を設けて保護さえするのである。

栽培植物について、在来種のみならず、導入種（16世紀以後、ポルトガル人やスペイン人によってもちこまれた新大陸起源のキャッサバやキサントソマ、トモロコシなど）のとり入れとその育成にみられる積極性や、農耕に投入する労働量の多さなどは、スーダン・サバンナ帯農耕民の行動学的特徴の一つとして捉えていいのかもしれない。

（たけだ じゅん：医学部助手 人類生態学）

G. H. Kerr氏が「わら算」の雛型を寄贈

「琉球の歴史」の著書で名高い、G. H. Kerr氏はこれまでも幾多の図書資料を本学図書館へ寄贈されておりますが、今年もまた多数の資料を寄贈してくださいました。Kerr資料の中には図書以外にスライドやマイクロフィルム・写真アルバム・新聞切抜き及びわら算（藁算）の雛型などがあります。

藁算は琉球王府時代に使用されていた記録法です。以下にG. H. Kerr氏が八重山竹富島に伝はる到来算（わら算）について書いたものを翻訳して掲載します。

〈南琉球諸島において用いられた結縄式記録法〉

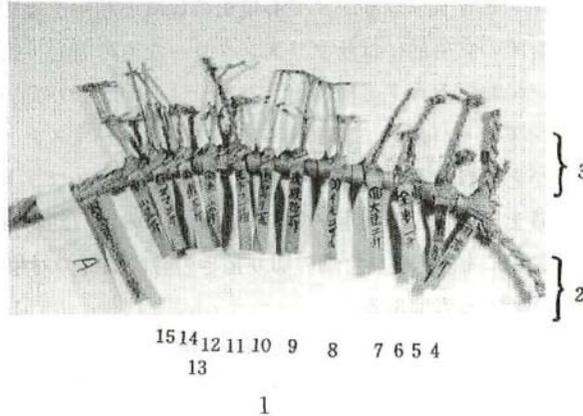
琉球王国時代、先島諸島の文字を知らない村人たちは結縄法、すなわち到来算（わら算）によって記録を保存しなければならなかった。この到来算はやがて、首里王府へ送付する報告書をまとめるために、村役人達によつて使用されるようになった。

1879年の琉球処分の際、初等教育は島々に急速に普及発展し、こうした昔ながらの工夫を不

必要なものとし、わら算の作りかたはまもなく一般に忘れられていった。

1962年に、八重山竹富島の博物収集家上勢頭亨氏は、私 G. H. Kerr のために、わら算一式を作成して下さった。上勢頭氏は結繩の技術とわら算におけるそれぞれの変化の意味を理解できる最後の古老たちの一人であったといわれている。

(A) 受領計算

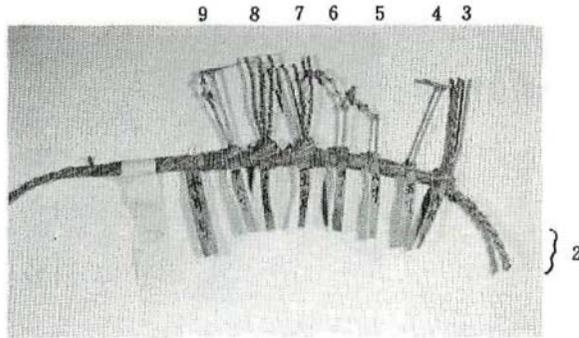


<説明>

(A)

- No. 1. 「到来算」あるいは「受領計算」とよばれ、村の各戸から何がどのくらい納められたかを記録するために用いられた。
- No. 2. 実際の「算」にはこれらの部分は存在しない。この2の部分単に説明の便宜のために付加されたものである。
本物の「算」には上部だけしかない。つまりその年貢がどこから納められたかを示すために家紋が書かれている。(而は上原家、而は宮良家など。)
- No. 3. 直立している藁については、長いものは年貢の種類を、短いものは同種のものがどのくらい納められたかを示す。
- No. 4. 米2升；家紋が全の家から米2升が納められたかを示す。
- No. 5. とうきび1升；先端に固有の結び目をもつ長い縄は、とうきびを示し、短い方はとうきび1升(家紋が而の家からの)を示す。
- No. 6. 家紋が全の家からの小麦1升。
- No. 7. // ⊕ // 大豆2升。
- No. 8. // ⊗ // ジャがいも かご2杯。
- No. 9. // 糸 // 片栗粉1升。
- No.10. // 田 // 野菜1束。
- No.11. // 壬 // 豆腐1丁。
- No.12. // ⊙ // 赤豆2升。
- No.13. // 西 // 魚 5斤。
- No.14. // ⊕ // ごま3升。
- No.15. // 中 // 小豆1升。

(B)木算



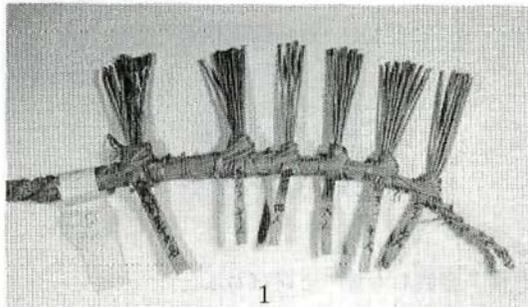
1

(B)

- No. 1. これは“木算”とよばれる。
- No. 2. この部分は単に説明のため付け加えられたもので、実際のわら算には存在しない。
- No. 3. 1本の大きい方の縄は5尺を示し、結ばれていないまっすぐの藁は1尺を示すので、これは6尺の材木を示す。
- No. 4. 5寸の材木。
- No. 5. 8寸 “ ”。
- No. 6. 4寸 “ ”。
- No. 7. 2本の縄は1丈（10尺、その1本が5尺）を示す。そして2本のまっすぐの藁は2尺を示すので、これは1丈2尺の材木を示す。
- No. 8. 3本の縄（それぞれ5尺を示す）は1丈5尺の材木。
- No. 9. この最後のものは他の材木の厚さ8寸を示す。

7 6 5 4 3 2

(C)原使い算

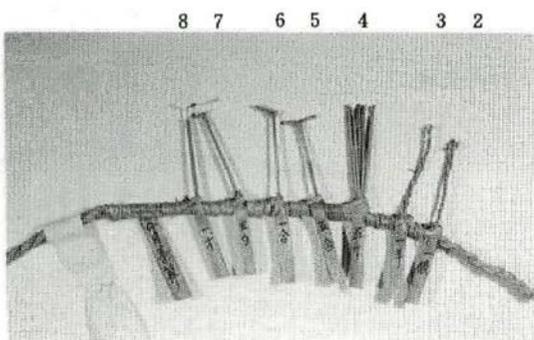


1

(C)

- No. 1. これは“原使い算”すなわち畑で働く労働者の人数の計算法である。
- No. 2. 各わらは1人の労働者を意味する。このグループは7人である。
- No. 3. 2番目のグループは10人
- No. 4. 3番目 “ ” 8人
- No. 5. 4番目 “ ” 4人
- No. 6. 5番目 “ ” 10人
- No. 7. 5つのグループの人数の総計である。各縄は10人を意味し、先端が結ばれた縄は5人、まっすぐのわらは1人を意味する。よって総計は39人である。

(D) 木升目わら算

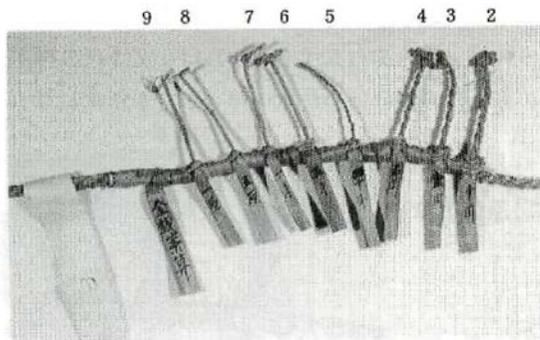


(D)

1

- No. 1. これは“木升目わら算”と呼ばれる。
- No. 2. 一袋 (の米、小麦など)
- No. 3. 一斗 (4765 USガロン)
- No. 4. 5升 (1升は 0.4765 USガロン)
- No. 5. 5合 (1合は 0.04765 USガロン)
- No. 6. 1合
- No. 7. 5勺 (1勺は 0.0047 USガロン)
- No. 8. 1歳 (0.00047 USガロン)

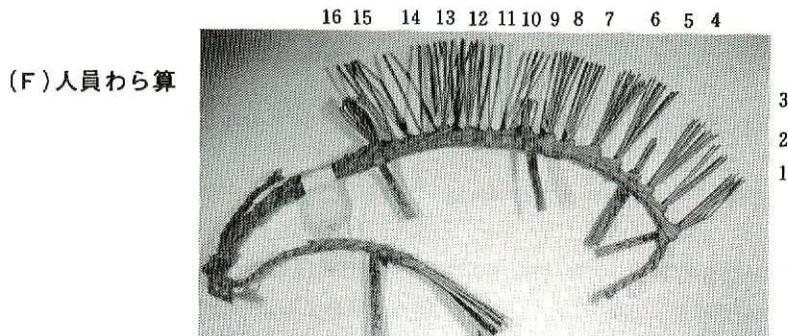
(E) 金銭わら算



(E)

1

- No. 1. これは“金銭わら算”と呼ばれる。
- No. 2. 先端にこの結び目のある大きな縄は10円
- No. 3. ふつうの縄は1円
- No. 4. 先端にこの結び目のある縄は5円
- No. 5. 小さな縄は0.1円 (10銭)
- No. 6. この結び目の先をもつわらは0.05円 (5銭)
- No. 7. 1銭
- No. 8. 0.005円 (5厘)
- No. 9. 0.001円 (1厘)



17

(F)

これは“人員わら算”と呼ばれる。

No. 1. 一家に5人

No. 2. // 3人

No. 3. // 4人

No. 4. 上記3戸と次の道区切りと隔てる通り。

No. 5. 6. 7. 8. 2番目の道区切りに属する家の人数。

No. 10. 11. 12. 13. 14. 15 3番目の道区切りに属する家の人数。

No. 4. 9. 16 各世帯グループを分ける通りのしるし。

No. 17. は総計、結繩は5人、まっすぐのわらは1人を意味する。

よって計は3つの道区切りに49人が居住していることを示す。

ブラウジングコーナー

理に合わないこと

弁当を拵えてもらうのは家内に申し訳ないので職場で買うことにしている。その弁当箱を開いて、ふたについているご飯粒を一つ一つ取ってきれいに食べてから、食事にかかるのが習しになっている。普通4分1程度はご飯を残しているの、ふたについている飯粒まで食べる必要はないのだが、気がついてみたらやはり同じことをやっている。戦中戦後の育ちざかりにひもじい思いをした者の悲しい性というべきか。

こっちの店は大根が10円安い、あっちのスーパーは缶詰が1ヶ当り5円安いと奥様方は体力にものをいわせて、あっちこっちと買物を楽しんでいらっしやる。一方亭主族は市価の3倍、4倍のお金をはたいて、バーやクラブで、お酒やウイスキーを呑んでいる。おまけに翌日は肝臓がどうの、胃がおかしい、頭が痛いのと苦しんでいる。世の中にはよく解らないことが多いですね。

新 着 図 書 案 内
参 考 図 書

〔和 漢 書〕

- | | |
|---|---|
| コンピューター2000語事典 R-007.03-Ka33
河合正榮著 大阪 弘文堂 | データファイル世界の国ぐに R-302-E19
1984 ザ・エコノミスト編 原書房 1985. |
| コンピュータの事典 R-007.03-Mo88
元岡達編 朝倉書店 1984. | 日本の白書 昭和59年 R-317-N77
日本情報教育研究会編 清文社 1984. |
| 日本全国書誌書名著者名索引 R-025.1-N77
1984年版 日本図書館協会 1985. | 都市問題事典 磯村英一編 R-318.703-I85
鹿島出版会 1983. |
| 研究調査参考文献総覧 波多野 R-028-H42
賢一・彌吉光長共編 文化図書 1984. | 平和事典 広島平和文化セン R-319.8-H73
ター編 勁草書房 1985. |
| 選定図書総目録 1985年版 R-028-N77
日本図書館協会編 1985. | ビジネス百科辞典 三沢仁 R-335.03-Mi51
・吉澤正直共編 小学館 1986. |
| 国立国会図書館所蔵主題別 R-029.1-Ko49
図書目録 昭和23~43年 1-23
日外アソシエーツ 1985 | 保険年鑑 昭和59年度 R-339.059-Se18
生命保険協会編 大蔵財務協会 1985. |
| 韓国大鑑 「韓国大鑑」編 R-059.21-Ka56
さん委員会編 日韓交流文化促進連盟 1984. | 法人税法規集 日本税理士会 R-345.3-N77
連合会編 中央経済社 1985. |
| わが国の国際文化交流団体一覽 R-061-Ko51
1983年版 国際交流基金編 1983. | 全国地方公共団体コード R-350.1-J47
昭和60年度版 自治省編 第一法規 1985. |
| 明治ニュース事典 7, 8 R-071-Me25
毎日コミュニケーションズ 1986. | 国際比較統計要覧 東京商工 R-350.9-To46
会議所 1986. |
| 性格心理学ハンドブック R-141.93-Se17
金子書房 1986. | 現代教育活動事典 改版 R-370.33-G34
世界書院 1981. |
| アジアにおけるキリスト教 R-190.22-Ko51
比較年表 1792-1945 国際基督教大学アジア
文化研究所編 創文社 1983. | 教育アンケート収録年鑑 R-371.3-Ky4
1986年版 第1, 2巻 教育基礎情報調査会
編 主婦の科学社 1985-1986. |
| 学術用語集 キリスト教学 R-190.34-Mo31
編 文部省編 日本学術振興会 1981. | 文部省選定教材映画等目録 R-375.27-Mo31
年報 昭和58年版 日本視聴覚教材センター
1984. |
| 第2次大戦事典 第1, 2巻 R-209.7-Y95
ピーター・ヤング編 加登川幸太郎・千早正隆共
訳 原書房 1984. | 算数教育指導用語辞典 日本 R-375.4-N77
数学教育学界編著 新教社 1984. |
| 西洋人物レファレンス事典 4 R-280.3-N71
日外アソシエーツ 1984 | 体育実技指導法ハンドブック R-375.49-Ma74
松田岩男・宇土正彦編著 大修館書店 1981. |
| 現代に生きる女性事典 1981、 R-281.03-N71.
1982年版 日外アソシエーツ 1981-1982 | 大学研究所要覧 1985年版 R-377.17-N77
日本学術振興会編 1986. |
| 中東人名事典 中東調査会 R-282.28-C68
1979. | 青少年問題に関する文献集 R-379.2-So55
第14巻 総理府青少年対策本部 1984. |
| 市町村別日本国勢総覧 1 R-291.03-Sh24
~ 8 日本図書センター 1985. | 世界科学者事典 1 デービ R-402.8-A11
ッド・アボット編 中村禎里監訳 原書房 1985. |
| | 物理教育用語集 日本物理 R-420.7-N77 |

- 教率学会編著 大日本図書 1984.
- 化学大辞典 1～10 縮刷版** R-430.33-Ka16
化学大辞典編集委員会編 共立出版 1984.
- 化学便覧 基礎編 I～II** R-430.36-N77
日本化学会編 丸善 1984.
- 学術用語集 海洋学編** R-452.034-Mo31
文部省編 日本学術振興会 1981.
- 学術用語集 地学編** R-454.034-M 81
文部省編 日本学術振興会 1984.
- 学術用語集 動物学編** R-480.34-Mo31
文部省編 大日本図書 1984.
- 学術用語集 歯学編** R-497.034-Mo31
文部省編 日本歯科医師会 1985.
- 厚生白書 昭和60年版** R-498.1-Ko83
厚生省編 厚生統計協会 1985.
- 食品衛生事典** 河端俊治 R-498.55-Ka92
〔ほか〕編 中央法規出版 1984.
- システムズ工学用語辞典** R-501.034-O46
大川雅司編著 工業調査会 1985.
- 総合エネルギー統計 昭和60年版** R-501.6-Sh29
資源エネルギー庁長官官房企画調査課編 通商産業研究社 1985.
- J I S用語辞典 電気編** R-501.7-J54
日本規格協会 1984.
- 日本の水資源 昭和60年** R-519.11-Ko45
国土庁長官官房水資源部編 大蔵省印刷局 1985.
- 環境六法 昭和61年版** R-519.5-Ka56
環境庁環境法令研究会編 中央法規出版 1986.
- 公害紛争処理白書 昭和60年** R-519.5-Ko24
公害等調整委員会編 大蔵省印刷局 1985.
- 原子力安全白書 昭和60年版** R-533.9-G34
原子力安全委員会編 大蔵省印刷局 1986.
- 図説電気・電子用語事典** R-540.34-O23
緒方興助〔ほか〕著 実教出版 1985.
- 実用海事六法 昭和60年版** R-550.9-Ka21
海事法規研究会編 成山堂書店 1985.
- 鉱業便覧 昭和60年版** R-560.36-Ko26
通商産業調査会 1986.
- 繊維年鑑 昭和61年版** R-586.059-N77
日本繊維新聞社編 大阪 1985.
- 手づくり年鑑 1984** 日本ヴォー R-594-N77
ーグ社編 1984.
- 通産統計ハンドブック 昭和60年版** R-605.9-Ts91
通商産業大臣官房調査統計部編 通産統計協会 1985.
- 世界農業白書 1984年** R-610.59-Ko51
国連食糧農業機関編 国際食糧農業協会 1986.
- 農家経済調査報告 昭和59年** R-611.82-N96
農林水産省経済局編 農林統計協会 1986.
- 果樹園芸大事典** 佐藤公一 R-625.03-Sa85
〔ほか〕編著 養賢堂 1984.
- 日本林業年鑑 1986年版** R-650.59-N77
林野弘済会 1986.
- 漁業動態統計年報 昭和59年** R-660.59-N96
農林水産省経済局編 農林統計協会 1986.
- デザイン法則事典 第1巻** R-674.91-Y19
山田理英著 産業能率大学出版部 1985.
- 会計法規集 最新増補版** R-679-C66
中央経済社編 1985.
- 航空年鑑 1985年版** R-687.059-Ko48
日本航空協会 1985.
- 通信白書 昭和60年版** R-692.1-Y99
郵政省編 大蔵省印刷局 1985.
- 新潮世界美術辞典** 新潮社 R-703-Sh61
1985.
- 美学事典 増補版** 竹内敏雄 R-703.3-Ta67
編 弘文堂 1985.
- 年鑑現代日本のインテリアデザイン** R-757.8-D18
第一出版センター編 講談社 1984.
- 19世紀の音楽カリカチュア** R-762-W88
H.C. ヴォルプス著 渡辺裕訳 音楽之友社 1984.
- オペラ名曲百科 上, 下** R-766.03-N23
永竹由孝著 音楽之友社 1985.
- シンボル事典** 水之江有一編 R-801-Mi96
北星堂書店 1985.
- 字義字訓辞典** 佐藤喜代治著 R-811.2-Sa85
角川書店 1985.
- 日本語の正しい表記と用語の辞典** R-811.56-Ko19
講談社校閲局編 講談社 1985.
- 現代用字用語の誤典** 松下 R-813.7-Ma88
史生著 自由国民社 1985.

比喩表現辞典 中村明著 R-815.9-N37 角川書店 1984.	スワヒリ・日本語辞典 R-896.3-W49 和崎洋一編 養徳社 1980.
なんでもまにあう実用書式 R-816.8-Ta58 事典 式部良明編著 三省堂 1985.	荷風書誌 山田朝一著 R-910.28-Y19 出版ニュース社 1985.
英語論文の書き方ハンドブック R-836-V26 M.C. ヴァンルーネン著 渡部昇一・永盛一共訳 南雲堂 1985.	作家名から引ける日本文学 R-910.35-N71 全集案内 日外アソシエーツ 1984.
独和大辞典 国松孝二〔ほか〕 R-843-Ku45 編 小学館 1986.	

第52回国際図書館連盟（IFLA）東京大会に参加して

日本で始めて開かれる国際会議ということ、次はいつ日本で開かれるかわからないからこの機会に国際会議を経験してみてもどうかという上司の勧めで、幸運にもこの大会に参加する機会を得ました。

今大会は海外から50余力国600名余の図書館人が東京に集まり、国内参加者約1300名と併せて1900名余の大規模な大会になり、青山学院大学を主会場に国立劇場、日本青年館、ホテルニューオータニの会場で8月24日から29日迄開催されました。

「21世紀の図書館」をメインテーマにして10のサブテーマ「1. ニューメディアの影響、2. 図書館サービスの変化、3. 図書館利用者の変化 4. 図書館管理・運営の変化 5. 図書館員、情報専門職の教育と訓練 6. 情報利用における国際協力 7. 印刷、非印刷メディアの保護と保存 8. 先進国と発展途上国との関係 9. 各国における図書館サービス発展の条件 10. 新しい図書館の理念」に添った様々のプログラムは現在及び将来の図書館がかかえる課題の解決と民族、国籍、宗教を越えた図書館人の国際協力が大切なことを示しています。

開会式は8月25日午後2時から国立劇場で皇太子及び同妃殿下御臨席のもとに開かれた。優雅な雅楽演奏のあとIFLA会長の挨拶のなかで第3世界への援助、図書の保存に関して酸性紙の問題等の発言、又皇太子殿下のお言葉で、日本は出版される図書の割合には図書館が発展しなかったこと、各国の図書館が交流を深めることにより、それぞれの図書館に蓄えられた古今の知識、情報は、地域を越えて人類の共有するところになり、発展途上国への協力を含めて、この大会を機に人々の友好が深まるよのべられたこと等深い感銘を覚えました。引き続き「21世紀への図書館」をテーマに3名の講師による全体会議に移りました。開会式、全体会議共、日英独仏露の5カ国同時通訳の設備がなされており、国際会議の実感を改めて味わいました。その夜、国立劇場近くのホテルニューオータニの鶴の間で開かれた東京都知事主催の歓迎レセプションは豪華そのものでした。皇太子及び同妃殿下をお招きして2000名の参加者が広い会場を埋めつくし、山海珍味の盛りつ

けも豪華でレセプションに一層の花を添えました。会場はお互いの話しも充分聞きとれない程、各人の会話と熱気で埋まり、盛会のうちに終わりました。

I F L A は独立した国際的非政府団体で本部をオランダのハーグに置き、123カ国加盟による世界的規模の会員を有し、図書館活動のあらゆる分野を扱っているとプログラムは記載しています。東京大会は8つの部会32の分科会、9つのラウンドテーブルがあり、私が参加した中で印象に残った1つに「皇帝」プロジェクトがあります。これはマイクロコンピュータを基本とするビデオ、システムを用いて、自由自在に望みの文字情報、画像情報および音声情報を対話型で同時に検索できるビデオディスクの部会でした。流暢な英語の解説が一層興味深いものになりました。

又、8月28日のプロフェッショナル・ツアーで12コースの中から筑波研究学園都市見学を申込み、図書館情報大学が公開図書室を設けて大学を社会に開放している点や、筑波大学がオンライン目録処理でカード目録をもたない等々と参考になる所が多く有益なツアーでした。今大会は70万枚の出版物が発行され、その半分が日本後版といわれる程、国内参加者が圧倒的に多く、分科会に参加しても日本語版の資料が充分行きわたらない有様でした。

閉会式は多数の参加のもと8月29日午後2時から日本青年館で行われ、今大会の反省点や第3世界への援助等決議が採択されました。永井組織委員長の挨拶の中で「白、黄、黒の皮膚の異なった今大会の参加者への処し方はステーキの調理法にも似ており、ロー、ミーディアム、ラエルダン等焼き方のようにそれぞれ異なっているがそれぞれ味わいのあるものだ」とユーモラスなスピーチがあり、閉会の辞ではI F L A 会長が今大会に話し合われた事柄はそれぞれの図書館に帰り、それぞれの仲間に伝え、実行に移すようにと語られ、最後に「終りは新しいものの始まりであり、ブライトン（英国：次期開催地）は待っている」と結んだ。

忙しい一週間の日程の大会も最終便の夜的那覇空港におさなごを見た時、始めて無事終わったことを実感した。

（医学部分館 整理係長 豊平 朝美）

寄贈雑誌・紀要類配架場所の移動のお知らせ

3階雑誌室の国際資料コーナーの一角に配架してあった研究所や団体からの寄贈雑誌は5層のバックナンバー書架へ移動しました。また各大学の紀要類のうち公私立大学は5層へ移動し、国立大学は国際資料コーナー隣りの現在の位置に配架しました。

国際資料コーナーには、Unesco資料・UN資料・OECD資料・EC資料・アジア研究資料および国立大学紀要類を配架してあります。又学内の紀要は2階の沖縄関係資料閲覧コーナー（貸出カウンターの前方）へ移動しました。

〈 図書館業務電算化通信 No.3 〉

閲覧業務への I L I S 導入

57年秋に当図書館の閲覧業務が電算化されて早くも4年が経過していますが、この10月20日にこれまでの富士通閲覧管理システムから、同じ富士通のILIS/閲覧へとシステムの移行がなされました。これはILIS(Integrated Library Information System)という大学図書館などに向け開発された図書館業務機械化のためのソフトウェアパッケージ群を導入し、図書館業務のトータルな機械化を行っていくための第一段階です。ILISは閲覧、雑誌受入、図書受入、目録作成、目録検索などからなっていて現在まだ開発進行中ですが、当館はそれらを順次導入していく予定になっています。

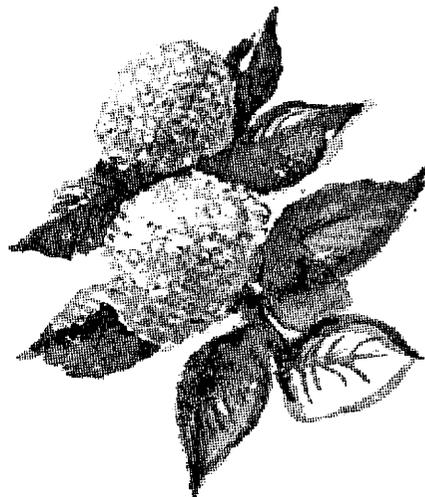
なお、カウンターでの利用者の貸出手続きなどには変更はありません。(学術情報係)

図書館業務電算化日録

昭和61年6月～10月

- 6月23日(月) 図書書誌データ修正作業(～28日)
- 25日(水) ワーキンググループ電算班会議(第5回)
- 26日(木) 富士通との打合せ(第7回)
- 7月4日(金) 富士通との打合せ(第8回)
- 8日(火) 学総目欧文編京大個別版入手、M180へ搭載
図書書誌データ、端末からの修正開始(～8月7日)
- 28日(月) ワーキンググループ電算班会議(第6回)
富士通との打合せ(第9回)
- 8月1日(金) 富山大学より閲覧管理プログラムMT入手
- 12日(火) 富士通との打合せ(第10回)
- 19日(火) 端末配置打合せ
- 20日(水) 情報処理センター機種更新作業(～31日)

- 8月29日(金) 富士通との打合せ(第11回)
- 9月1日(月) 情報処理センターのM360稼働開始
- 2日(日) 金城照子整理係員、学術情報センター総合目録データベース
実務研修参加(～10月29日)
- 19日(金) M360へデータ搭載(和洋図書書誌追加、洋雑誌所蔵)
- 25日(木) AIM運用、進捗状況チェック等についての打合せ
- 27日(土) V830データのフロッピーへの吸上げ
- 10月1日(水) ILIS閲覧業務セットアップ(～20日)
- 3日(金) 端末接続のための配線工事(～4日)
- 6日(月) ワーキンググループ電算班会議(第7回)
- 16日(木) オペレーションデモ
端末接続のための配線工事
- 20日(月) ILIS閲覧システム稼働開始
- 21日(火) 情報処理センター長との打合せ
- 22日(水) レスポンスタイム計測(～23日)



1987 度新規・中止雑誌リスト

1987年度の新規購入雑誌及び中止雑誌が決まりましたので掲載いたします。なお中央図書館の国内雑誌については、図書館運営委員会の決定を待って、次号20巻1号(62年3月)に掲載します。

1987 年度新規購入外国雑誌リスト

	配架場所
1. Behavior Therapy	本館
2. Education and Training of the Mentally Retarded	本館
3. The Gerontologist	医分館
5. Journal of Advanced Nursing	医分館
4. Journal of Applied Behavior Analysis	本館
6. Journal of Autism and Development Disorders	本館
7. Journal of Chromatography—Biomedical Applications	本館
8. Journal of Contaminant Hydrology	本館
9. Journal of Learning Disabilities	本館
10. Journal of Mental Deficiency Research	本館
11. Journal of Motor Behavior	本館
12. Journal of the Psychoanalytic Association	本館
13. Journal of Speech & Hearing Research	本館
14. Music Analysis	本館
15. Oryx	医分館
16. Parasite Immunology	医分館
17. Pediatric Surgery International	医分館
18. Perception & Psychophysics	本館
19. Research in Nursing and Health	医分館
20. Sprachflege	本館
21. Teacher Education and Special Education	本館
22. Weed Science	本館

1987年度中止外国雑誌リスト

	配架場所
1. British Journal of Industrial Medicine	医分館
2. Business and Commercial Aviation	本館
3. Canadian Journal of Biochemistry and Cell Biology	本館
4. Deutsch Hydrographische Zeitschrift	本館
5. Food Service Marketing (Independent Restaurant)	本館
6. International Journal of Man-Machine Studies	本館
7. International Journal of Non-Liner Mechanics	本館
8. International Journal of Social Psychiatry	医分館
9. Journal of Agricultural Science	本館
10. Journal of Arnold Arboretum	本館
11. Journal of Endocrinology	本館
12. Journal of Food Process Engineering	本館
13. Journal of Human Evolution	医分館
14. Material Science and Engineering	本館
15. Nursing Forum	医分館
16. Physics Bulletin	本館
17. Physiology and Behavior	本館
18. Transportation	本館
19. Trends in Biotechnology	本館

1987年度医学部分館新規コア・ジャーナル
の選定について

医学部分館では学術雑誌の充実・整備を図るため、昭和62年度より156種(洋雑誌94、和雑誌62)を新規コア・ジャーナルとして購入することになりました。

コア・ジャーナルの選定にあたっては、医学科(病院を含む)の各講座より選出された委員によるコア・ジャーナル選定ワーキングを経て、医学部分館運営委員会に諮った後、医学部教授会の承認を得て実施することになりました。

洋雑誌

1987年度医学部分館新規コア・ジャーナルリスト

1. Acta Dermato-Venereologica

2. Acta Psychiatrica Scandinavica

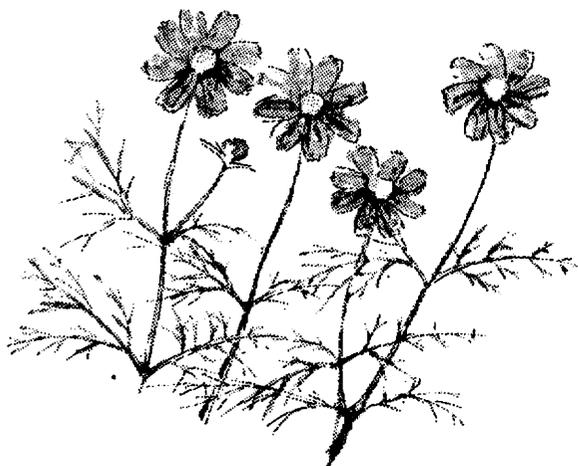
3. American Industrial Hygiene Association Journal
4. American Journal of Human Genetics
5. American Pharmacy
6. Analytical Biochemistry
7. Anaesthesia
8. Archives of Environmental Health
9. Archives of Gynecology
10. Archives Internationales de Pharmacodynamie et Therapie
11. Archives of Neurology
12. Archives of Orthopaedic and Traumatic Surgery
13. Artery
14. Artificial Organs
15. Cleft Palate Journal
16. Clinica Chimica Acta
17. Clinical Cardiology
18. Clinical Hemorheology
19. Clinical Nephrology
20. Clinical Pharmacokinetics
21. Clinical Radiology
22. Clinical Vision Sciences
23. Contact Dermatitis
24. Core Journals in Ophthalmology
25. Cutis
26. Cytogenetics & Cell Genetics
27. Developmental Biology
28. Digestive Surgery
29. Drug Intelligence & Clinical pharmacy
30. EMBO Journal (European Molecular Biology Organization)
31. Endocrinologica Japonica
32. European Heart Journal
33. European Journal of Nuclear Medicine
34. Excerpta Medica: Forensic Science Abstracts (Section 49)
35. Experimental Neurology
36. Experimental Parasitology
37. FEMS Microbiology Letters
38. Folia Psychiatrica et Neurologica Japonica
39. Forum on Fundamental Surgical Problems
40. Gastrointestinal Endoscopy
41. Hand Clinics
42. Hautarzt
43. Hearing Research
44. International Journal of Gynecology & Obstetrics
45. International Journal of Oral Surgery
46. International Pharmaceutical Abstracts
47. Intervirology
48. Japanese Heart Journal
49. Journal of Air Pollution Control Association
50. Journal of the American College of Cardiology
51. Journal of Antimicrobial Chemotherapy
52. Journal of Biochemistry
53. Journal of Chronic Diseases
54. Journal of Clinical Oncology
55. Journal of Clinical Pharmacology
56. Journal of Cutaneous Pathology
57. Journal of Forensic Science
58. Journal of General Virology
59. Journal of Medical Genetics
60. Journal of Morphology
61. Journal of Neuropathology and Experimental Neurology
62. Journal of Oral Pathology
63. Journal of Pediatric Orthopedics
64. Journal of Pharmaceutical Science
65. Journal of Pharmacy & Pharmacology
66. Journal of Surgical Research
67. Laryngoscope

- | | |
|---|--|
| 68. Life Science | 83. Radiologic Clinics of North America |
| 69. Medicine, Science and Law | 84. Scandinavian Journal of Haematology |
| 70. Microvascular Research | 85. Scandinavian Journal of Urology & Nephrology |
| 71. Molecular and Cellular Biology | 86. Seminars in Nuclear Medicine |
| 72. Nervenarzt | 87. Therapeutic Drug Monitoring |
| 73. Nucleic Acids Research | 88. Thorax |
| 74. Ophthalmologica | 89. Transplantation Proceedings |
| 75. Ophthalmology | 90. Undersea Biomedical Research |
| 76. Otolaryngology: Head and Neck Surgery | 91. Yearbook of Obstetrics & Gynecology |
| 77. Pain | 92. Yearbook of Urology |
| 78. Pediatric Neuroscience | 93. Zeitschrift fuer Parasitenkunde |
| 79. Pharmacology | 94. Zentralblatt fuer Neurochirurgie |
| 80. Placenta | |
| 81. Psychiatry Research | |
| 82. Quarterly Journal of Medicine | |

和雑誌

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. アルコール研究と薬物依存 | 21. 看護技術 |
| 2. 賠償医学 | 22. 関節外科 |
| 3. 病院 | 23. 血液と脈管 |
| 4. 病院薬学 | 24. 検査と技術 |
| 5. 治療 | 25. 呼吸と循環 |
| 6. Coronary | 26. 厚生統計協会出版物一括 |
| 7. 栄養学雑誌 | 27. Mebio |
| 8. フーズピオ | 28. Medical Immunology |
| 9. 癌と化学療法 | 29. Medical Practice |
| 10. 月刊ナーシング | 30. Medical Technology |
| 11. 月刊薬事 | 31. 免疫と血液 |
| 12. 現代医療 | 32. 免疫薬理 |
| 13. 犯罪学会誌 | 33. ナーシングトゥデイ |
| 14. 医科器械学 | 34. 日本耳鼻咽喉科学会々報 |
| 15. INNER VISION | 35. 日本皮膚科学会雑誌 |
| 16. 医用電子と生体工学 | 36. 日本法医学会誌 |
| 17. 耳鼻咽喉科 | 37. 日本医師会雑誌 |
| 18. 人工臓器 | 38. 日本腎臓学会誌 |
| 19. 腎と透析 | 39. 日本内科学会誌 |
| 20. 看護 | 40. 脳と神経 |

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 41. OPE | 52. 労働白書 |
| 42. プラクティス | 53. 生体の科学 |
| 43. Progress in Medicine | 54. 食の雑誌 |
| 44. Radio Isotopes | 55. 食生活 |
| 45. 臨床病理 | 56. 総合臨床 |
| 46. 臨床画像 | 57. 大気汚染学会誌 (大気汚染研究) |
| 47. 臨床科学 | 58. 糖尿病 |
| 48. 臨床検査 | 59. 薬局 |
| 49. 臨床と研究 | 60. 薬事新報 |
| 50. 臨床スポーツ医学 | 61. 薬務公報 |
| 51. 臨床神経学 | 62. 薬剤学 |



文献複写をセルフ・サービスで

— 校費移算による文献複写取扱要項の制定について —

校費による文献複写に関する規程等の整備を行うとともに、文献複写サービスの強化を図るため、従来図書館職員によって1枚当り13円で行っていた複写業務をとり止め、去る10月1日から磁気カードによる複写方法に変更いたしました。

磁気カードによる複写とは、図書館備付け教館専用複写機で、図書館が配付した磁気カードを使用して、教官自ら複写を行う方法であります。この場合の複写料金はB4版以下の用紙使用で、1枚当り10円を校費移算により差引きます。

利用時間は時間外開館が行われている期間は、月～金 8:30～20:30、土 8:30～16:00、の時間帯まで複写利用時間を延長します。但し、各休業期間中は、月～金 8:30～16:30、土 8:30～12:00です。なお勤務時間終了後の複写利用は2階貸出カウンターで3階事務室の鍵を借受けて行って下さい。その際「文献複写申込書」に記入することをお忘れにならないようお願いいたします。使用後は複写機のメインスイッチを切断し、書庫内・事務室内の電灯を消し、旋錠して出て下さい。

磁気カードの申込みは「磁気カード利用申込書」に所定事項を記入の上、必ず学部事務（課）長の押印を受けて図書館長宛に提出して下さい。磁気カードは原則として利用申請をされた先生が直接受領されるようお願いいたします。やむをえず代理受領の場合は印鑑を持参させて下さい。なお磁気カードの配付は原則として学科あるいは学科目に1枚ですが、個人で持ちたい方はその旨申して下さい。配付業務は3階の参考調査係（電話2145）で行っております。

以上のことについては、図書館長名による文書（学内図整第358号 昭和61年10月1日）を各学部長へ発送して周知を図ってきましたが、11月29日現在の申請者は54人です。まだの方はお早目に申請して下さいようお願いします。

磁気カード配布状況

S 61. 11. 29現在

	申 込 者	受 領 者
法 文	11	3
教 育	6	5
理 学	21	21
工 学	8	8
農 学	5	1
教 養	2	1
短 大	1	1
計	54	41

琉球大学附属図書館校費移算による文献複写取扱要項

(昭和61年10月1日)
制 定

第1条 琉球大学附属図書館（医学部分館を含む）が行う校費移算による文献複写（以下「文献複写」という。）の取扱いについては、この要項の定めるところによる。

第2条 文献複写は、本学の教官が教育又は研究の用に供することを目的とする場合に限るものとする。

第3条 文献複写を利用する者は、所定の申込書に必要事項を記入し、附属図書館長（医学部分館は分館長）に提出しなければならない。

第4条 文献複写を利用する者は、複写機の操作を各自行うものとする。

2 文献複写を利用する者は、複写機が故障した場合、使用を中止するとともに係に報告しその指示を受けなければならない。

第5条 電子複写方式による場合は、磁気カードによるものとする。

第6条 文献複写利用料金は、別表文献複写料金表による。

附 則

この要項は、昭和61年10月1日から施行する。

文 献 複 写 料 金 表

種 別	規 格	1枚当たりの単価（円）
電子複写方式による複写	B4判以下	10
リーダープリンターによる複写		20

磁気カード利用申込書

昭和 年 月 日

琉球大学附属図書館長 殿

下記のとおり申込みます。

この申込みによる著作権に関する一切の責任は申込者が負います。

申込者	学 部	学 科	氏 名
			印

利用料金は校費の移算により支払います。

学部 事務(課)長 印

受付年月日	磁気カードNO	カード交付年月日	カード受領印
年 月 日	NO	年 月 日	印

文献複写申込書 (校費移算用)

(附属図書館長殿)
(医学部分館長殿)

下記の通り申込みます。

この申込による著作権に関する一切の責任は申込者が負います。

申 込		昭和 年 月 日
申込者	氏 名	
	所 属	
書(誌)名: 巻号(年)		
複 写 枚 数		枚

用紙はB6判とする。

本学教官著書寄贈コーナー

昭和61年1月から10月31日までにご寄贈いただいた分を掲載します。(敬称略)

- | | |
|---------------------|--|
| 浅野 誠 (教育史) | 「子どもの発達と生活指導の教育内容論」明治図書 1985 |
| 中山 満 (人文地理学) | 「沖縄の社会科百科」沖縄出版 1986 |
| 瑞慶覧 長定 (電子工学) | 「微少電力多値論理回路とその応用に関する研究」
東北大 学位論文 |
| 水野 益 継 (法律学) | 「法学概論」八千代出版 1985 |
| 伊江 朝 章 (社会学) | 「教養としての社会病理学」学文社 1986 |
| 平良 初 男 (分析化学) | 「琉球石灰岩地域に産する陸性マンガン団塊の地球化学的研究」
1985 学位論文 |
| 加納 隆 至 (基礎保健学講座) | 「最後の類人猿」どうぶつ社 1986 |
| 仲程 昌 徳 (文学) | 「沖縄近代詩史研究」新泉社 1986 |
| 比嘉 良 充 (倫理学) | 「地域からの国際交流」研文出版 1986 |
| 若尾 祐 司 (政治学及び政治史) | 「ドイツ奉公人の社会史」ミネルヴァ書房 1986 |
| 稲 嶺 成 作 (構成) | 「美術理論」教育学部美術工芸科 1986 |
| 大宜見 朝 栄 (森林保護学森林工学) | 「新編樹病学概論」養賢堂 1986 |
| 本川 達 雄 (生理生化学) | 「サンゴ礁の自然誌」本川達雄訳 平河出版社 1986 |
| 氏家 宏 (堆積学) | 「琉球弧の海底」新星図書 1986 |
| 福島 駿 介 (建築計画学) | 「沖縄における木工系技術及びその伝承に関する研究」
新住宅普及会 1986 |
| 山里 将 晃 (経済政策) | 「南からの発想」ひるぎ社 1986 |
| 泉 恵 得 (声学) | 「沖縄の歌、日本の歌」レコード 1枚 |
| 合田 正 人 (仏語) | 「超越・外傷・神曲」国文社 1986 |
| 秋 永 孝 義 (農産施設工学) | 「沖縄県産物の流通技術に関する実証的研究」九大 1986
学位論文 |
| 小島 理 禮 (国文学) | 「琉球古鐘銘集成」教育学部小島研究室 1986 |
| 石 嶺 行 男 (農場) | 「琉球列島におけるサトウキビ畑の雑草植生の実態と強害草の
生態・生理学的研究」九大 1986 学位論文 |

年内複写サービス期間のお知らせ

今年の文献複写サービスは、下記の日時までですのでご留意下さい。

(私費) 昭和61年12月25日(木) 午後4時45分

(校費) 昭和61年12月26日(金) 午後4時45分

図 書 館 事 情

〔第169回図書館運営委員会〕

日 時：昭和61年9月18日（木）15：00～

場 所：図書館会議室

- 議 題：1. 1987年共同利用購入外国雑誌について
2. 琉球大学附属図書館校費移算による文献復写取扱要項（案）について
3. 学術雑誌（バックナンバー）の配架変更について
4. 昭和61年度沖縄関係文献資料保存事業計画について
5. その他

- 報告事項：1. 学術雑誌見直し検討委員会
2. 沖縄研究資料調査収集小委員会
3. 大型コレクション収集計画について
4. 業務電算化について
5. 図書施設の整備について
 (1) 書庫の整備作業
 (2) マイクロ資料室の様様替
 (3) 1階通用口の自動ロック
6. 国立大学図書館協議会総会（第33回）について
7. その他
 (1) ファクシミリの設置計画
 (2) 1986年版図書館概要及び英文利用案内

〔出張〕

昭和61年6月10日（火）附属図書館長・國府田佳弘、事務部長・前田正三、閲覧課長・山田勉

第33回国立大学図書館協議会総会出席、東京・13日まで

昭和61年6月10日（火）整理係長・新城安善

法政大学沖縄文化研究所における資料調査、東京・12日まで

昭和61年6月25日（水）参考調査係長・仲西盛秀

第7回EDCセミナー出席、東京・27日まで

昭和61年7月10日（木）附属図書館長・國府田佳弘

沖縄関係文献資料保存事業に関する打合せ、東京・12日まで

昭和61年7月22日（火）学術情報係・金城守

JOIS研修会参加、福岡・26日まで

昭和61年7月23日（水）分館閲覧係・伊佐真一

第5回九州地区医学図書館実務者連絡会議出席、佐賀・26日まで

昭和61年8月4日(日) 図書館専門員・新井裕丈

第1回学術情報センター・シンポジウム出席、東京・6日まで

昭和61年8月11日(月) 受入係長・松原敏夫

第11回沖縄地区係長研修参加、那覇・23日まで

昭和61年8月21日(木) 図書館専門員・新井裕丈

第34回九州地区同医学図書館協議会総会出席、福岡・23日まで

昭和61年8月24日(日) 分館整理係長・豊平朝美

第52回国際図書館連盟(IFLA)東京大会出席、東京・29日まで

昭和61年8月31日(日) 受入係・砂川善則

昭和61年度(第23回)九州地区国立学校等会計事務研修・阿蘇郡一の宮町・9月6日まで

昭和61年9月1日(月) 整理係・金城照子

昭和61年度総合目録データベース実務研修、東京・10月27日まで

昭和61年9月10日(水) 閲覧係・邊土名恵子

昭和61年度九州地区著作権講習会参加、長崎・12日まで

昭和61年9月10日(水) 参考調査係長・仲西盛秀

昭和61年度九州地区国立大学図書館協議会実務者連絡会議出席、福岡・12日まで

昭和61年9月16日(火) 整理課長・尾崎一雄

昭和61年度国立学校事務電算化講習会出席、徳島・20日まで

〔来館者〕

昭和61年6月9日(月) 沖縄県立ろう学校生 10人

昭和61年9月29日(月) 一橋大学附属図書館・大島朋子助手

昭和61年10月7日(火) JAICA研修員 8人

昭和61年10月8日(水) 米国メリーランド大学、デビット・ハーチエンセン心理学部長、ローバート・E・トモリ教授

昭和61年10月14日(火) 佐賀大学、原田洋庶務部長

〔講演会〕

昭和61年10月7日(火) 17:10~20:10

講演者: 上里健次(園芸学) 農学部助教授

演題: スラウエシの自然とトラジャの葬儀習慣

〔その他〕

沖縄県大学図書館協議会研修会

昭和61年7月9日(水) 16:~17:00

講演者: EC委員会代表部広報担当参事官 マイケル・レイク氏。資料室・中曽根佐織氏

演題: EC・アメリカ・日本

医学部分館コーナー

情報検索 (JOIS) の利用案内

情報検索は、千原の附属図書館で実施しておりますが、上原団地から離れているため医学部の先生方にはご不便をおかけしてきました。去る11月1日から医学部分館閲覧係(内線2733・2734)でも利用できるようになりましたのでご案内申し上げます。

情報検索の利用時間及び利用料金は、次のとおりです。

記

1. 利用時間 月～金 9:00～16:30 (但し、12:00～13:00を除く)
土 9:00～11:30
2. 利用料金 (JICST提供料金)

データベース名	料 金 ファイル接続料金	オンライン 回答出力料金 (ヒットチャージ)	オフライン料金			
			手配料金	回 答 出 力 料 金		
				Aタイプ(抄録付)	Fタイプ(抄録無し)	
JICST	200円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件	
JMEDICINE	210円/分			29円/件	17円/件	
JICSTE	200円/分			22円/件	22円/件	
JCLEARING				23円/件	17円/件	
JPUBLIC				35円/件	17円/件	
JCATALOG				-	-	
JTERM	-	-	-			
MEDLINE	180円/分	10円/件	500円/回	30円/件	20円/件	
CA SEARCH	312円/分	51円/件		-	68円/件	
TOXLINE	375円/分	23円/件		55円/件	37円/件	
BIOSIS	320円/分	30円/件		-	46円/件	
CAB	232円/分	70円/件		95円/件	76円/件	
COAL	200円/分	10円/件		35円/件	17円/件	
CANCERLIT	208円/分	10円/件		43円/件	25円/件	
FSTA	280円/分	26円/件		51円/件	33円/件	
NTIS	252円/分	10円/件		35円/件	17円/件	
INSPEC	364円/分	58円/件		95円/件	17円/件	
INIS	200円/分	10円/件		35円/件	17円/件	
NK-MEDIA	240円/分	10円/件		35円/件	17円/件	
EMBASE	323円/分	10円/件		28円/件	17円/件	
IRRD	200円/分	10円/件		35円/件	17円/件	
MESH	180円/分	-		-	-	-
CASNAME	200円/分					
MALIMET	200円/分					
研修ファイル	50円/分					

分 館 事 情

〔 第 14 回 運 営 委 員 会 〕

日 時：昭和61年6月9日（月）16：00～

場 所：医学部分館会議室

議 題：購入学術雑誌の増加について

報告事項：研修医オリエンテーションについて

〔 第 15 回 運 営 委 員 会 〕

日 時：昭和61年7月24日（木）16：00～

場 所：医学部分館会議室

議 題：1. 講座購入雑誌の2週間貸出について

2. 看護、薬剤部などの雑誌について

3. その他

報告事項：1. 国家試験対策委員会寄託図書について

2. 学術雑誌（コア・ジャーナル）選択ワーキングについて

3. 保健学科院生のオリエンテーションについて

4. 文献複写依頼書の記入について

5. その他

〔 第 16 回 運 営 委 員 会 〕

日 時：昭和61年9月17日（水）16：00～

場 所：医学部分館会議室

議 題：1. 昭和62年度新規購入コアジャーナル及び負担額について

2. 講座費購入新着雑誌の貸出に関する申合せについて

3. その他

報告事項：1. 視聴覚機器及び情報検索機器の購入について

2. コアジャーナルの選定作業について

3. 第34回九州地区医学図書館協議会総会について

4. その他

〔第17回運営委員会〕

日 時：昭和61年10月23日（木）16：00～

場 所：医学部分館会議室

議 題：バックナンバーの購入について

- 報告事項：1. 複写業務（公費、私費）の開始について
2. 図書館利用案内（1986年）の発行について
3. 情報検索（JOIS）の利用案内について
4. 視聴覚機器及びファクシミリの購入について

〔医学部オリエンテーション〕

医学科2年生 約130人

日 時：昭和61年10月24日（金）10：30～11：30

場 所：基礎講義棟 104教室

保健学科2年生 約70人

日 時：昭和61年10月28日（火）11：20～12：10

場 所：保健学科講義棟 210教室

〔出張〕

昭和61年7月24日（木）～25日（金） 閲覧係 伊 佐 真 一

第5回九州地区医学図書館協議会実務者連絡会議出席

昭和61年8月4日（月） 専門員 新 井 裕 丈

第1回学術情報センター・シンポジウム出席 東京 6日まで

昭和61年8月21日（木） 専門員 新 井 裕 丈

第34回九州地区医学図書館協議会総会出席 福岡 23日まで

昭和61年8月24日（日） 整理係長 豊 平 朝 美

第52回IFLA東京大会出席 29日まで

琉球大学附属図書館報 “びぶりを” 第19巻 第4号 [通巻第73号]

昭和61年12月1日 発行

発行 琉球大学附属図書館 沖縄県西原町千原1番地

電話（09889）5-2221 内線（2143） 編集 びぶりを編集委員会